

**製品名: EphA4 (リン酸化 Tyr596) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab04614**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	110kDa

**抗原情報**

遺伝子名	EPHA4
別名	EPHA4; HEK8; SEK; TYRO1; Ephrin type-A receptor 4; EPH-like kinase 8; EK8; hEK8; Tyrosine-protein kinase TYRO1; Tyrosine-protein kinase receptor SEK
遺伝子 ID	2043.0
SwissProt ID	P54764
免疫原	ヒト EphA4 のリン酸化部位（リン酸化 Tyr596）周辺の合成リン酸化ペプチド

**背景**

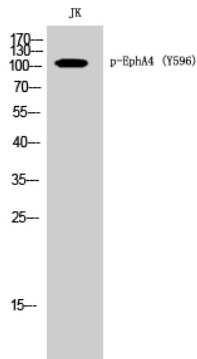
この遺伝子は、タンパク質チロシンキナーゼファミリーのエフリン受容体サブファミリーに属します。EPH および EPH 関連受容体

は、特に神経系において、発達過程の媒介に関与していることが示唆されています。EPHサブファミリーの受容体は、典型的には単一のキナーゼドメインと、システインリッチドメインおよび2つのフィブロネクチンタイプIIIリピートを含む細胞外領域を有します。エフリン受容体は、細胞外ドメイン配列の類似性とエフリンAおよびエフリンBリガンドへの結合親和性に基づいて、2つのグループに分類されます。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。 [RefSeq提供、2015年1月]、触媒活性:  $ATP + a [タンパク質]-L-チロシン = ADP + a [タンパク質]-L-チロシンリン酸$ 。、ドメイン: タンパク質キナーゼドメインは、NGEF/エフェキシン-1との相互作用を媒介します。、機能: エフリンAファミリーのメンバーの受容体。エフリンA1、-A4、-A5に結合します。エフリンA2および-A3とは結合しにくくなります。後脳のパターン形成に参与するシグナル伝達プロセスで役割を果たす可能性があります。、類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。Tyrタンパク質キナーゼファミリー。、類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。Tyrタンパク質キナーゼファミリー。エフリン受容体サブファミリー。、類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。、類似性: 1つのSAM (無菌 $\alpha$ モチーフ)ドメインを含む。、類似性: 2つのフィブロネクチンIII型ドメインを含む。、サブユニット: SRCファミリーキナーゼp59-Fynの主要リン酸化部位であるTyr-602を介して相互作用する。NGEF/エフェキシン-1と相互作用する。、組織特異性: 普遍的。、

## 研究分野

軸索ガイダンス;

## 画像データ



リン酸化EphA4 (Y596) ポリクローナル抗体を用いたJK細胞のウェスタンブロット解析